



日時：12月18日（土）、18時～20時50分

場所：慶大・三田キャンパス、南館4F会議室

下記、キャンパス地図15番が南館です。正門側が大規模工事中のため、キャンパスへのアクセスは東門をご利用下さい。

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

プログラム：

18時～18時50分

Zenitum社によるプレゼンテーション&質疑応答（日本側担当者が日本語で説明します）

アルバート・キム（Zenitum, Inc.、Founder/CEO）

\*プレス・リリース（<http://www.zenitum.com/wp-content/uploads/2010/12/dARuma.pdf>）

19時～19時50分

トーク・セッション：「ARマーケティングの未来」

スピーカー：津田賀央（株式会社 東急エージェンシー、クリエイティブ・ソリューション本部）、石川淳（株式会社 プロントコーポレーション、経営企画室、情報システムグループ・経営企画グループ、マネージャー）、寺井弘典（株式会社 ピクス、取締役/クリエイティブ・ディレクター）、稲見昌彦（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授）

チャェア：岩渕潤子（AR Commons 事務局/慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科、教授）

スピーカー・プロフィール：

津田賀央：東急エージェンシー/インタラクティブコミュニケーション局 iソリューション部 所属。ソーシャルメディア領域を中心としたコンテンツ/コミュニケーション企画のプランニングから、広告会社の枠を超えた新規事業の企画開発まで、幅広く手がけるプランナー。新しいテクノロジーに対する知見を活かした企画立案も手がける。受賞歴：東京インタラクティブアドアワード2009 Bronze、AD STARS 2009 Silver、2010 Merit、Spikes ASIA 2009 Bronze、カンヌ国際広告祭2009 Shortlistなど

石川淳：株式会社プロントコーポレーション経営企画室 情報システムグループに所属。入社後、約5年間はプロントの店舗で勤務、その後、店舗開発部に所属し店舗の開拓を担当。2001年の「Linux Cafe di PRONTO」の立ち上げを店舗開発部で担当し、そのまま同店舗の店長を1年間兼務。その発展系として、プロントチェーンでの公衆無線LANサービス導入等を経て情報システム担当になる。現在は、プロントチェーン全体のPOSレジ、電子マネーシステムをはじめとする業務システム分野全般の企画立案、導入、運用を担当。

寺井弘典：株式会社ピクス取締役/クリエイティブ・ディレクター。多摩美術大学絵画科油画専攻卒業後、82年より映像作家としてビデオアート作品、インスタレーション作品を主に発表、MoMA コレクションとして収蔵。92年 MTV JAPAN オンエア・プロモーション・クリエイティブディレクター。2001年 P. I. C. S. クリエイティブ・ディレクター。CM、MV、WEB、オリジナルコンテンツ等の企画、開発。メディアのカテゴリーにとらわれないキャンペーン、コンテンツ、展覧会を企画、プロデュースしている。「ミュージックビデオ/新しい感受性をのせて」展、上海万博日本産業館 INAX360° 映像プロデュース等。カンヌ国際広告祭サイバー部門 GOLD 受賞。本年度、文化庁メディア芸術祭エンターテイメント部門審査員を務める。

稲見昌彦：慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授。専門分野：インタラクティブ技術、複合現実感、ロボット、リアルメディア。生物工学の専攻から、バーチャル・リアリティ (VR) やヒューマンインタフェースの分野に研究領域を広げてきた経歴を持つ。コンピュータグラフィックスと インタラクティブ技術に関する世界最大の国際会議「ACM SIGGRAPH」において 1997 年より 10 年連続して Emerging Technologies に 17 件の研究が入選するという記録を持っているほか、2003 年には、再帰性投影技術に関する研究で TIME 誌の Coolest Inventions of the Year を受賞するなど、その研究は国内外で高く評価されている。特に「光学迷彩」は透明人間を工学的に実現したとして、新聞やメディアでも話題になった。

岩淵潤子：AR Commons 事務局代表/慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科、教授。ヘレナ・ルービンスタイン・フェローとしてニューヨーク、ホイットニー美術館に在籍した後、イタリア・フィレンツェ、ロンドンなどで研究生生活を送る。米国の美術館運営をめぐるダイナミズムと個人蒐集家の役割、現代の開かれたミュージアムの社会的使命の検証などをテーマに多くの著作があり、近年は文化施設の経営に資する情報デザインをテーマに Museums and the Web、ICOM-CIDOC などでの発表多数。主著に『ニューヨーク午前0時 美術館は眠らない』（朝日新聞社）、『億万長者の贈り物』（日本経済新聞社）、『美術館で愛を語る』（PHP 研究所）ほか。2009 年夏、AR Commons 設立の呼びかけを行い事務局を努めている。

20 時～20 時 50 分 AR Commons メンバー、及び、AR 関連企業による最新動向のお知らせ

スピーカー：平川祐介（株式会社ゼンリンデータコム、営業本部営業戦略室）、岩井陽介（アララ株式会社代表取締役）

チェア：稲見昌彦（慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授）

・19 時～20 時 50 分まで、上記セッションと並行して、会場となる南館・会議室と同フロア (4F) のミーティング・ルームにおいて、Zenitum 社のアルバート・キム CEO とスタッフが、上記イベントにお申し込みでない方でも随時デモをご覧頂けるよう、スタンバイしています。イベントの選に漏れた場合でも、こちらは事前登録無しでもお立ち寄り頂けますので、ぜひ、この機会を名刺交換にご利用下さい。

本イベントは UST の予定はありませんが会場からの tweets は歓迎です。ハッシュタグは AR Commons の 2010 年冬イベントということで、#ARWIN10 とします。